令和５年度

定　期　監　査　報　告　書

（令和４年度企業会計）

阿蘇市監査委員

目　　次

企　業　会　計

第１　監査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　1　監査の対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　2　監査の期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　3　実施した監査手続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２　監査の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
　【病院事業】
　阿蘇医療センター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

　【水道事業】
　上下水道課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

　【講評・所感】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

（注　　記）

1　本書中の数値は、単位未満四捨五入している。

2　単位未満四捨五入のため、計及び合計が一致しない場合がある。

3　「0」は、当該数値はあるが表示単位未満のものまたは、当該数値のない場合も含まれる。

4　「－」は、当該数値がない場合である。

5　「△」または「－」は数値のマイナスを表す。

6　構成比率（%）は、合計が 100 となるよう一部調整している。

（関係条文）

・地方自治法第 199 条第 1 項

監査委員は、普通地方公共団体の財務に関する事務の執行及び普通地方公共団体の経営に係る事業の管理を監査する。

・地方自治法第 199 条第 4 項

監査委員は、毎会計年度少なくとも 1 回以上期日を定めて第 1 項の規定による監査をしなければならない。

・地方自治法第 199 条第 9 項

監査委員は、監査の結果に関する報告を決定し、これを普通地方公共団体の議会及び長並びに関係ある教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会若しくは公平委員会、公安委員会、労働委員会、農業委員会その他法律に基づく委員会または委員に提出し、かつ、これを公表しなければならない。

定 期 監 査 報 告 書

第１　監査の概要

１　監査の対象

令和４年４月１日から令和５年３月 31 日までの公営企業阿蘇市病院事業及び水道事業における事務及び予算の執行、財産の管理の状況について、地方自治法第 199 条第１項、第２項及び第４項の規定に基づき監査を実施した。

２　監査の期間

令和５年６月９日から令和５年６月２６日までの間

３　実施した監査手続

監査の対象となった財務に関する事務の執行について、提出された資料並びに提示のあった関係書類及び会計書類及び会計帳簿等に基づいて、証憑突合その他通常実施すべき監査手続を実施した。

また、当事業の管理の状況についても、提出された資料及び提示のあった関係書類等に基づいて、質問を行うとともに、必要と認めたその他の監査手続を実施した。

第２　監査の結果

監査の結果、当事業に係る財務に関する事務は、関係法令、会計規程等に準拠して、おおむね適正に執行されているものと認められた。

講評・所感においては、改善検討を望むとした事項を記述したが、事務処理における軽易な事項については、その都度、関係職員に対して適切な処理を講ずるよう指示したところである。

今後とも事務処理に十分留意し、検討善処されたい。

【阿蘇医療センター】

(1) 職員構成

令和５年３月31日現在

公営企業 ― 病院事業管理者（院長兼務） ― 阿蘇医療センター

院　長　1人
事務部長　1人
課　長　1人

診療部	10 人
薬剤部	6 人
看護部	80 人
医療技術部	34 人
医療安全管理部	2 人
地域医療連携部	4 人
波野診療所	4 人
事務部	14 人
	154 人

職種別		定員	令和3年度末現員	令和４年度末現員			
				実績	内波野診療所	前年度増減	定員との比較
正職員	医師（波野診療所含）	15	11	11	1	0	△ 4
	薬剤師	4	6	6		0	2
	看護師(波野診療所含)	74	84	82	1	△ 2	8
	准看護師	12	1	2	1	1	△ 10
	看護補助	6	0	0		0	△ 6
	社会福祉士	2	3	3		0	1
	診療放射線技師	4	6	7		1	3
	臨床検査技師	4	7	7		0	3
	臨床工学技士	2	3	4		1	2
	理学療法士	4	9	9		0	5
	作業療法士	2	4	4		0	2
	管理栄養士	2	2	2		0	0
	言語療法士	1	1	1		0	0
	ボイラー技士	1	2	2		0	1
	事務職員（波野診療所含）	8	11	14	1	3	6
計		141	150	154	4	4	13
会計年度任用職員	非常勤医師(波野診療所含)	―	30	30	2	0	―
	薬剤師	―	0	1		1	―
	看護師	―	11	9		△ 2	―
	准看護師	―	3	2		△ 1	―
	臨床検査技師	―	1	0		△ 1	―
	リハビリ助手	―	1	1		0	
	職員（波野診療所含）	―	9	8	1	△ 1	―
	管理栄養士	―	1	1		0	―
	歯科衛生士（波野診療所含）	―	2	2	2	0	―
委託関係	医療事務	―	17	19		2	―
	看護補助等職員	―	17	17		0	―
	給食調理業務	―	11	14		3	―
	院内清掃業務	―	8	8		0	―
	患者送迎等用務業務	―	1	1		0	―
	宿日直警備職員	―	6	5		△ 1	―
	SPD業務	―	3	3		0	―
	売店業務	―	3	3		0	―
計			124	124	5	0	
合計			274	278	9	4	

(2) 病院のあらまし

名　　称：阿蘇医療センター
所　在　地：阿蘇市黒川 1266 番地
開設年月日：昭和 25 年 5 月 15 日
開院年月日：平成 26 年 8 月 6 日
敷 地 面 積：26,335 ㎡
延 床 面 積：11,230 ㎡（建築面積 6,064 ㎡）
　　病　棟　　（免震構造、鉄筋コンクリート 4 階建）
　　外来棟　　（耐震構造、鉄筋コンクリート建）
　　中央診療棟（免震構造、鉄筋コンクリート 2 階建）
院内保育・病児病後児保育所：92.16 ㎡（木造平屋建）（令和 4 年 4 月 1 日開所）
医 師 住 宅：603 ㎡（ＲＣ造陸屋根、2 階建、3 棟、間取り 3ＬＤＫ）

(3) 事務事業の概要

①　令和 4 年度の主な事務事業

1. 感染症等の医療への対応について

第二種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症における「帰国者・接触者（発熱）外来」を令和 2 年度から継続して設置し、新型コロナウイルス感染症疑似症患者の診察（検査含む）及びトリアージを実施（令和 2 年 4 月から本年 3 月まで延べ 7,852 人）するとともに、新型コロナワクチン接種を小児から全世代対応（令和 3 年 3 月から本年 3 月まで延べ 7,981 人）し、新型コロナウイルス感染症陽性患者等（疑似症患者含む）の入院治療による受入（令和 2 年 4 月から本年 3 月まで延べ 189 人）を実施した。

なおウイルスの爆発的な感染拡大により、残念ながら院内でも 7 月と 12 月に入院患者や従業員に感染が広がりクラスターが発生したが、当院 2 名の感染管理認定看護師による積極的な疫学調査と市民部健康増進課からの防護具の提供支援など早期に対応した結果、救急外来をはじめとする外来診療や、ワクチン接種等の業務を継続することができた。

また、阿蘇圏域での高齢者施設や医療機関でのクラスター発生時にも認定看護師を派遣するなど、早期の収束に協力してきた。

さらに、阿蘇郡市医師会と協力し、感染急拡大に伴う意見・情報交換会を毎月開催するなど情報の共有化を図っているほか、圏域自治体・保健所・阿蘇地域振興局・消防署等の関係機関と連携して対応に努めてきた。

2. 収益増収への取り組みについて

新型コロナウイルス感染症への対応で、4 階病棟を閉鎖していることから 84 床での運用を図ってきたが、第 2 種感染症指定医療機関として陽性患者の受け入れのための医療提供体制の整備を進め病床確保を行い、県の重点医療機関の要件を満たし、その指定により国の運営費補助金等の活用により、入院制限における収益の減収分を補っている。

診療体制は、令和４年４月から阿蘇圏域の需要の声の多かった皮膚科外来を開設し、10 月から毎月第１、第３、第５金曜日に「もの忘れ外来」を開設。平成 29 年から認知症看護認定看護師をはじめとする他職種による「認知症ケアチーム」を立ち上げ、入院患者やご家族からの困りごとについて情報共有し、治療に向けた取り組みを進めており、高齢化とともに増加している認知症患者の対応を進めている。

また、10 月「地域医療連携の会」を阿蘇郡市の各医療機関や薬局・介護保険施設等 37 施設から 78 名の出席により、コロナ渦以降３年ぶりに顔を合わせて開催。「心不全治療に対する病診連携」に関する講演とともに、医療センターの各診療科の情報共有を図り紹介率・逆紹介率をあげる取り組みを進め、外来患者の増加を図っている。

医師をはじめ医療従事者の確保については、医師招聘活動を継続するとともに、初期・後期研修医（医科／歯科)、研修生（特定行為看護師／救命救急士)、医学部実習生、養成施設実習生（看護師／薬剤師／検査技師／リハビリ療法士／栄養士）の受け入れを積極的に進めている。研修医・実習生等の受入れは、後年の当院への就職の動機にもなっており、人材確保に資するうえで継続して若手医療人の育成、教育機能の充実に取り組んでいる。

さらに、子育て世代の医師や看護師等の確保のため、院内保育所を、病児・病後児保育所と併せて敷地内に、令和４年４月から開所し児童５名の受け入れを行っている。

医療の質向上は平成 29 年に取得した病院機能評価の更新認定を１月に受け 86 の評価項目中 77 項目で A 評価、特に災害対応については最高評価の S 評価を受けたところである。また 10 月から熊本大学病院との看護師の相互派遣交流による「看護師キャリア支援事業」を開始。熊本大学病院では看護業務と並行して研修を受け高度な医療技術の習得還元を目指している。医療の質と安全を維持向上させるため、今後も継続的な改善活動に取り組んでいく。

なお、診療単価については前年比入院単価：105.2%と増額、外来単価：98.7%と前年並みを維持しており、本来の稼働に戻った時には収益増収の見込みとなっている。

3. 病院の利用状況について

外来診療日数年間 243 日で、①延べ外来患者数 63,193 人（波野診療所 3,108 人、計 66,301 人)、一日平均 260.1 人（前年度比 38 人増、波野診療所 1 日平均 13 人)、②延入院患者数 19,534 人（前年比 2,211 人減)、病床稼働率（4 階病棟閉鎖）42.4%（前年度比 6.5%減）と外来患者数は増加したが，入院患者はコロナの急拡大の影響もあり減少している。

診療単価では入院が 40,923 円（前年度比 2,032 円増)、外来が 11,470 円（前年度比 151 円減）となり、外来はほぼ前年並み・入院診療単価は毎年増額となっており、平時に戻った場合には効率的な収益増加が見込まれる体制となっている。

（診療科目）

当年度	前年度
阿蘇医療センター 内科 循環器内科 脳神経内科 リウマチ膠原病内科 脳神経外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 整形外科 リハビリテーション科 腫瘍内科 小児科 糖尿病・代謝・内分泌内科 歯科口腔外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 耳鼻咽喉科 呼吸器内科 婦人科 皮膚科	阿蘇医療センター 内科 循環器内科 脳神経内科 リウマチ膠原病内科 脳神経外科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 整形外科 リハビリテーション科 腫瘍内科 小児科 糖尿病・代謝・内分泌内科 歯科口腔外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 耳鼻咽喉科 呼吸器内科 婦人科
波野診療所 内科 外科 整形外科 歯科	波野診療所 内科 外科 整形外科 歯科

（病床数）

区　分	病　棟	当年度	前年度
病床数	一　般	120 床	120 床
	療　養	0 床	0 床
	感染症	4 床	4 床
病床利用率（感染症病床を除く）		42.4%	48.9%

② 事務実績の状況

病院事業の業務実績は表１のとおりで、阿蘇医療センターは令和４年度入院患者数 19,534 人（１日平均 53.5 人）、前年度 21,745 人（１日平均 59.6 人）、外来患者数 63,193 人（１日平均 260.1 人）、前年度 53,697 人（１日平均 221.9 人）で前年度と比較すると、入院患者数で 2,211 人（10.2%）の減、外来患者は 9,496 人（17.7%）の増であった。

波野診療所は医科の患者数 2,423 人（１日平均 13.0 人）、前年度 2,458 人で（1 日平均 13.0 人）で前年度と比較すると 35 人の減、歯科では患者数 685 人（1 日平均 7.8 人）、前年度 706 人（1 日平均 7.9 人）で、前年度から 21 人の減であった。

（表 1）患者数の推移　　（単位：人）

区　分	当年度		前年度		比較	
	人数	１日平均	人数	１日平均	増減	比率(%)
阿蘇医療センター						
入院患者数	19,534	53.5	21,745	59.6	△ 2,211	△ 10.2
外来患者数	63,193	260.1	53,697	221.9	9,496	17.7
波野診療所						
外来患者数（医科）	2,423	13.0	2,458	13.0	△ 35	△ 1.4
外来患者数（歯科）	685	7.8	706	7.9	△ 21	△ 3.0
合　計	85,835		78,606		7,229	9.2

（表 2－1）科別入院患者（阿蘇医療センター）　　（単位：人）

区分	入　院											
	内科	外科	整形外科	小児科	脳神経外科	循環器科	脳神経内科	消化器内科	消化器外科	代謝内科	歯科口腔外科	計
4月	582	0	288	0	241	201	0	0	242	0	8	1,562
5月	698	0	221	0	117	264	0	0	348	0	23	1,671
6月	615	0	300	0	156	294	0	0	203	0	39	1,607
7月	793	0	258	1	180	143	0	0	185	0	9	1,569
8月	860	0	207	1	231	116	0	0	249	0	4	1,668
9月	835	0	185	0	175	146	0	0	227	0	12	1,580
10月	717	0	257	0	223	112	0	0	177	0	8	1,494
11月	595	0	301	0	299	134	0	2	226	1	4	1,562
12月	643	0	322	0	315	134	0	0	246	1	10	1,671
1月	854	0	229	0	185	182	0	0	300	1	18	1,769
2月	776	0	226	9	188	146	0	1	213	0	30	1,589
3月	781	0	341	1	194	232	0	0	221	1	21	1,792
合 計	8,749	0	3,135	12	2,504	2,104	0	3	2,837	4	186	19,534
１日平均	24	0	9	0	7	6	0	0	8	0	1	54
診療日数												

（表２−２）科別外来患者（阿蘇医療センター）　　（単位：人）

区分	外来																			
	内科	整形外科	小児科	循環器内科	脳神経内科	脳神経外科	消化器外科	リウマチ膠原病科	乳腺内分泌外科	代謝内科	血液・免疫内科	腫瘍内科	消化器内科	歯科口腔外科	耳鼻咽喉科	腎臓内科	呼吸器内科	婦人科	皮膚科	計
4月	1,483	621	278	391	73	1,435	201	55	39	219	7	0	109	83	67	23	53	14	120	5,271
5月	1,438	583	272	502	58	938	153	55	36	224	8	0	83	88	70	25	58	13	134	4,738
6月	1,497	621	301	418	83	1,154	243	54	43	255	9	0	79	88	101	27	55	12	300	5,340
7月	1,448	580	374	469	58	1,623	155	55	39	238	11	0	81	59	72	35	67	12	259	5,635
8月	1,592	511	278	416	78	2,440	176	52	34	221	6	0	83	74	66	24	53	13	316	6,433
9月	1,402	551	297	387	81	1,030	209	55	48	248	8	0	102	70	83	38	73	20	255	4,957
10月	1,316	597	317	385	72	867	192	47	58	218	9	0	114	73	53	36	69	18	232	4,673
11月	1,384	615	295	389	101	1,096	172	54	50	199	13	0	103	95	62	37	77	18	234	4,994
12月	1,327	641	319	377	86	2,204	195	54	43	230	13	0	82	73	80	36	72	8	206	6,046
1月	1,382	596	241	342	62	2,434	200	52	31	226	16	0	123	85	69	34	72	18	204	6,187
2月	1,217	529	267	289	77	796	141	60	28	177	15	0	98	98	58	27	55	17	244	4,193
3月	1,293	539	323	374	100	754	202	58	35	288	13	0	66	122	111	49	75	26	298	4,726
合計	16,779	6,984	3,562	4,739	929	16,771	2,239	651	484	2,743	128	0	1,123	1,008	892	391	779	189	2,802	63,193
1日平均	69	38	15	20	20	88	17	54	20	28	12	0	8	8	19	10	8	9	56	
診療日数	243	186	242	241	46	190	135	12	24	97	11	0	135	128	46	39	96	22	50	

（表３）経営の状況　　（単位：円：％）

区　　分	令和２年度	令和３年度	令和４年度
総収益	2,945,329,441	2,980,183,061	2,730,616,463
（うち医業収益）	1,444,460,862	1,581,700,373	1,638,155,005
総費用	2,486,462,565	2,467,842,843	2,655,725,584
当年度純損益	458,866,876	512,340,218	74,890,879
その他未処分利益剰余金変動額	—	—	—
当年度末処理欠損金	△ 2,036,881,770	△ 1,524,541,552	△ 1,449,650,673
単年度利益比率	31.8	32.4	4.6
利益剰余金比率	△ 141.0	△ 96.4	△ 88.5
総収支比率	118.5	120.8	102.8

(4) 収益的収入及び支出　（令和４年４月１日～令和５年３月 31 日まで）

事業収益は、予算現額 2,916,135,000 円に対し、決算額 2,739,372,832 円で、執行率 93.9%となる。事業費用は、予算現額 2,916,135,000 円に対し、決算額 2,637,835,401 円で、不用額は 278,299,599 円となっている

収　入（消費税込）　　**（単位：円）**

区　　分	予算現額			決算額	予算額に比べて決算額の増減	執行率	備　考（仮受消費税）
	当初予算額	補正予算額	計				
第1款　病院事業収益	2,862,435,000	53,700,000	2,916,135,000	2,739,372,832	△176,762,168	93.9	8,756,369
第1項　医業収益	2,269,528,000	△292,387,000	1,977,141,000	1,646,043,464	△331,097,536	83.3	7,888,459
第2項　医業外収益	592,857,000	346,087,000	938,944,000	1,090,270,337	151,326,337	116.1	867,910
第3項　特別利益	50,000	0	50,000	3,059,031	3,009,031	6,118.1	0

支　出（消費税込）　　**（単位：円）**

区　　分	予算現額					決算額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不用額	備考（仮払消費税）
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	計				
第１款　病院事業費用	2,862,435,000	53,700,000	0	0	2,916,135,000	2,637,835,401	0	278,299,599	73,342,403
第1項　医業費用	2,799,364,000	53,700,000	1,194,907	0	2,854,258,907	2,583,911,739	0	270,347,168	73,342,403
第2項　医業外費用	54,027,000	0	312,600	0	54,339,600	53,157,790	0	1,181,810	0
第3項　特別損失	1,900,000	0	0	0	1,900,000	765,872	0	1,134,128	0
第4項　予備費	7,144,000	0	△1,507,507	0	5,636,493	0	0	5,636,493	0

(5) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 213,929,000 円に対し、決算額 196,524,000 円で執行率 91.9%となる。資本的支出は、予算現額 343,416,039 円に対し、決算額 324,407,729 円で、継続費逓次繰越額 1,080,000 円を差引くと、不用額は 17,928,310 円となっている。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 127,883,729 円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんされている。

収　入（消費税込）　　**（単位：円）**

区　分	予算現額				決算額	執行率	予算額に比べ決算額の増減	備　考（仮受消費税）
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	計				
第１款　資本的収入	467,956,000	△ 254,027,000	0	213,929,000	196,524,000	91.9	△ 17,405,000	0
第1項　企業債	258,800,000	△ 150,000,000	0	108,800,000	91,400,000	84.0	△ 17,400,000	0
第2項　他会計負担金	209,156,000	△ 118,327,000	0	90,829,000	90,824,000	100.0	△ 5,000	0
第3項　補助金	0	14,300,000	0	14,300,000	14,300,000	100.0	0	0

支　出（消費税込み）　　**（単位：円）**

区　分	予算現額				決算額	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	不用額	備　考（仮払消費税）
	当初予算額	補正・予備費	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	合　計					
第1款　資本的支出	596,363,000	△ 261,430,000	8,483,039	343,416,039	324,407,729	0	1,080,000	17,928,310	11,202,835
第1項　建設改良費	398,924,000	△ 261,430,000	8,483,039	145,977,039	126,969,559	0	1,080,000	17,927,480	11,202,835
第2項　企業債償還金	158,312,000	0	0	158,312,000	158,311,500	0	0	500	0
第3項　他会計借入金償還金	39,127,000	0	0	39,127,000	39,126,670	0	0	330	0

(6) 企業債償還状況　　（単位：円）

項目	本年度借入高	前年度末残高	本年度償還高	本年度末残高	備　考
企業債	91,400,000	3,172,709,230	158,311,500	3,105,797,730	

(7) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、以下の比較損益計算書のとおり、総収入 2,730,616,463 円に対し、総支出 2,655,725,584 円で 74,890,879 円が当年度純利益となっている。

収　入（消費税抜き）　　（単位：円：%）

項　　目	令和２年度	令和３年度(A)	令和４年度(B)	増減額（C）（B）－（A）	増減率 C/A*100
1 医業収益	1,444,460,862	1,581,700,373	1,638,155,005	56,454,632	3.6
①入院収益	791,214,005	845,920,551	805,622,388	△ 40,298,163	△ 4.8
②外来収益	571,912,565	650,582,389	752,594,086	102,011,697	15.7
③その他医業収益	81,334,292	85,197,433	79,938,531	△ 5,258,902	△ 6.2
2 医業外収益	1,500,283,602	1,392,365,304	1,089,402,427	△ 302,962,877	△ 21.8
①受取利息配当金	2,404	6,316	10,726	4,410	69.8
②他会計負担金	323,723,000	380,982,000	422,710,000	41,728,000	11.0
③補助金	1,059,803,860	907,719,860	523,521,860	△ 384,198,000	△ 42.3
④長期前受金戻入	106,739,051	92,419,785	131,443,777	39,023,992	42.2
⑤その他医業外収益	10,015,287	11,237,343	11,716,064	478,721	4.3
3 特別利益	584,977	6,117,384	3,059,031	△ 3,058,353	△ 50.0
①過年度損益修正益	584,977	6,117,384	3,059,031	△ 3,058,353	△ 50.0
②その他特別利益	0	0	0	0	—
合　　計	2,945,329,441	2,980,183,061	2,730,616,463	△ 249,566,598	△ 8.4

支　出（消費税抜き）　　（単位：円：%）

項　　目	令和２年度	令和３年度(A)	令和４年度(B)	増減額（C）（B）－（A）	増減率 C/A*100
1　医業費用	2,335,553,200	2,323,403,196	2,510,569,336	187,166,140	8.1
① 給与費	1,367,904,493	1,375,057,842	1,424,927,550	49,869,708	3.6
② 材料費	252,447,255	282,513,438	326,658,970	44,145,532	15.6
③ 経費	483,705,538	504,785,474	550,770,320	45,984,846	9.1
④ 減価償却費	229,501,318	158,664,442	205,056,497	46,392,055	29.2
⑤ 資産減耗費	0	0	0	0	—
⑥ 研究研修費	1,994,596	2,382,000	3,155,999	773,999	32.5
2　医業外費用	148,477,771	144,211,728	144,390,376	178,648	0.1
① 支払利息及び企業債取扱諸費	40,151,609	38,328,725	37,189,509	△ 1,139,216	△ 3.0
② 消費税	6,662,100	7,814,800	6,312,600	△ 1,502,200	△ 19.2
③ 雑支出	92,008,381	88,412,522	91,232,586	2,820,064	3.2
④ 雑損失	0	0	0	0	—
⑤繰延勘定償却	9,655,681	9,655,681	9,655,681	0	0
3　特別損失	2,431,594	227,919	765,872	537,953	236.0
① 過年度損益修正損	2,431,594	227,919	765,872	537,953	236.0
②その他特別損失	0	0	0	0	—
合　　計	2,486,462,565	2,467,842,843	2,655,725,584	187,882,741	7.6

【上下水道課】

(1) 職員構成（水道事業）

課 長（1） ― 課長補佐 （1） ― 水道管理係 ― 係長（補佐兼務） 主任（1） 主事（1） 会計年度任用職員（1）

水道工務係 ― 係長（1） 参事（2） 会計年度任用職員（1）

企業出納員（1）

支 所 ― 内牧水道分室 参事（2） 会計年度任用職員（3）

波野水道分室 参事（1） 会計年度任用職員（2）

水道施設の新設、更新及び維持管理、使用水量の認定、検針、水道料金出納等の事務を本庁、各支所分室の職員 18 人（会計年度任用職員を含む）で執行しており、その事務事業はおおむね適正に執行されているものと認めた。

(2) 収益的収入及び支出

事業収益は、予算現額 499,717,000 円に対し、決算額 509,370,730 円で、執行率 101.9%となる。また、事業費用については、予算現額 499,040,000 円に対し、決算額 468,682,718 円で執行率 93.9%となっている。

収益的収入（消費税込み） （単位：円：%）

区 分	予算額			決算額	執行率	備考
	当初予算額	補正額	合 計			(仮受消費税)
第1款 上水道事業収益	484,908,000	7,000,000	491,908,000	500,574,332	101.8	37,957,752
第1項 営業収益	427,620,000	7,000,000	434,620,000	435,857,082	100.3	37,429,959
第2項 営業外収益	57,288,000	0	57,288,000	64,717,250	113.0	527,793
第2款 簡易水道事業収益	7,809,000	0	7,809,000	8,796,398	112.6	490,628
第1項 営業収益	2,140,000	0	2,140,000	2,880,406	134.6	261,836
第2項 営業外収益	5,669,000	0	5,669,000	5,915,992	104.4	228,792
合 計	492,717,000	7,000,000	499,717,000	509,370,730	101.9	38,448,380

収益的支出（消費税込み） （単位：円：%）

区 分	予算額					決算額	執行率	備考
	当初予算額	補正額	予備費	流用	合計			(仮払消費税)
第１款 上水道事業費用	462,960,000	11,000,000	1,394,100	1,000,000	476,354,100	453,996,889	95.3	11,682,230
第1項 営業費用	424,690,000	11,000,000	0	0	435,690,000	413,568,640	94.9	11,679,246
第2項 営業外費用	38,070,000	0	1,394,100	1,000,000	40,464,100	40,395,430	99.8	0
第3項 特別損失	200,000	0	0	0	200,000	32,819	16.4	2,984
第２款 簡易水道事業費用	20,080,000	0	0	△1,000,000	19,080,000	14,685,829	77.0	673,176
第1項 営業費用	18,280,000	0	0	0	18,280,000	14,065,084	76.9	673,176
第2項 営業外費用	1,750,000	0	0	△1,000,000	750,000	620,745	82.8	0
第3項 特別損失	50,000	0	0	0	50,000	0	0.0	0
第３款 予備費	5,000,000	0	△1,394,100	0	3,605,900	0	0.0	0
第1項 予備費	5,000,000	0	△1,394,100	0	3,605,900	0	0.0	0
合 計	488,040,000	11,000,000	0	0	499,040,000	468,682,718	93.9	12,355,406

(3) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額 240,239,000 円に対し、決算額 130,714,178 円で、執行率 54.4%となる。資本的支出は、予算現額 411,970,000 円に対し、決算額 280,560,729 円で執行率 68.1%である。不用額は 131,409,271 円となっている。

資本的収入（消費税込み）　　（単位：円：%）

区　　分	予　算　現　額			決算額	執行率	備考
	当初予算額	補正額	合計			(仮受消費税)
第１款　上水道事業 資本的収入	236,660,000	0	236,660,000	127,289,178	53.8	547,198
第1項　企業債	200,000,000	0	200,000,000	95,000,000	47.5	0
第3項　他会計補助金	26,270,000	0	26,270,000	26,270,000	100.0	0
第4項　工事負担金	5,000,000	0	5,000,000	1,795,178	35.9	163,198
第5項　加入金	5,390,000	0	5,390,000	4,224,000	78.4	384,000
第２款　簡易水道事業 資本的収入	3,579,000	0	3,579,000	3,425,000	95.7	0
第2項　加入金	154,000	0	154,000	0	0.0	0
第3項　他会計補助金	3,425,000	0	3,425,000	3,425,000	100.0	0
合　　計	240,239,000	0	240,239,000	130,714,178	54.4	547,198

資本的支出（消費税込み）　　（単位：円:%）

区　　分	予　　算　　額				決算額	執行率	備考
	当初予算額	補正予算額	繰越額	合 計			(仮払消費税)
第１款　上水道事業 資本的支出	394,990,000	0	0	394,990,000	275,885,758	69.8	11,829,114
第1項　建設改良費	249,250,000	0	0	249,250,000	130,294,529	52.3	11,829,114
第2項　企業債償還金	145,740,000	0	0	145,740,000	145,591,229	99.9	0
第２款　簡易水道事業 資本的支出	11,980,000	0	0	11,980,000	4,674,971	39.0	0
第1項　建設改良費	7,230,000	0	0	7,230,000	0	0.0	0
第2項　企業債償還金	4,750,000	0	0	4,750,000	4,674,971	98.4	0
第３款　予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0
第1項　予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0.0	0
合　　計	411,970,000	0	0	411,970,000	280,560,729	68.1	11,829,114

(4) 経営の状況〔比較損益計算書〕

本年度の経営状況は、比較損益計算書のとおりで、総収入 470,922,350 円に対し、総支出 441,539,754 円で 29,382,596 円が当年度純利益となっている。

比較損益計算書（消費税抜き）　　**（単位：円：%）**

収　入

	令和４年度(A)		令和３年度(B)		増減額（C）(A)-(B)	増減率 C/B*100
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
1　営業収益	401,045,693	85.1	396,527,841	85.9	4,517,852	1.1
①給水収益	375,052,478	79.6	371,148,591	80.4	3,903,887	1.1
②受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	—
③その他の営業収益	25,993,215	5.5	25,379,250	5.5	613,965	2.4
2　営業外収益	69,876,657	14.9	65,030,540	14.1	4,846,117	7.5
①受取利息及び配当金	75,048	0.0	129,724	0.0	△ 54,676	△ 42.1
②他会計補助金	5,063,000	1.1	5,588,000	1.2	△ 525,000	△ 9.4
③長期前受金戻入	51,266,348	10.9	51,440,399	11.2	△ 174,051	△ 0.3
④雑収益	13,472,261	2.9	7,872,417	1.7	5,599,844	71.1
⑤補助金	0	0.0	0	0.0	0	—
3　特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
収入合計	470,922,350	100.0	461,558,381	100.0	9,363,969	2.0

支　出

	令和４年度(A)		令和３年度(B)		増減額（C）(A)-(B)	増減率 C/B*100
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
1　営業費用	415,281,302	94.1	404,503,502	91.6	10,777,800	2.7
①原水及び浄水費	55,350,205	12.6	48,294,071	10.9	7,056,134	14.6
②配水及び給水費	46,159,753	10.5	34,144,044	7.7	12,015,709	35.2
③総係費	126,923,665	28.7	139,272,704	31.6	△ 12,349,039	△ 8.9
④減価償却費	185,814,589	42.1	182,769,708	41.4	3,044,881	1.7
⑤資産減耗費	1,033,090	0.2	22,975	0.0	1,010,115	4,396.6
2　営業外費用	26,228,617	5.9	27,940,015	6.4	△ 1,711,398	△ 6.1
①支払利息及び企業債取扱諸費	23,622,075	5.3	25,813,793	5.9	△ 2,191,718	△ 8.5
②雑支出	2,606,542	0.6	2,126,222	0.5	480,320	22.6
③繰延勘定償却	0	0.0	0	0.0	0	—
3　特別損失	29,835	0.0	8,704,035	2.0	△ 8,674,200	△ 99.7
①過年度損益修正損	29,835	0.0	8,704,035	2.0	△ 8,674,200	△ 99.7
支出合計	441,539,754	100.0	441,147,552	100.0	392,202	0.1

当年度純利益

	29,382,596		20,410,829		8,971,767	44.0

【 収入未済額調 】 （単位：円：%）

	調定年度	調定額		収納額		不納欠損額		収納率	未納額	
		件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額(円)	(%)	件数	金額（円）
過年度	平成12年度	3	20,494	0	0	0	0	0.0	3	20,494
	平成13年度	13	90,860	0	0	0	0	0.0	13	90,860
	平成14年度	22	169,580	0	0	0	0	0.0	22	169,580
	平成15年度	12	75,600	0	0	0	0	0.0	12	75,600
	平成16年度	16	104,162	0	0	0	0	0.0	16	104,162
	平成17年度	44	246,374	4	6,481	0	0	2.6	42	239,893
	平成18年度	50	251,788	13	25,919	0	0	10.3	46	225,869
	平成19年度	40	198,678	2	2,800	0	0	1.4	39	195,878
	平成20年度	33	1,880,307	9	66,977	0	0	3.6	26	1,813,330
	平成21年度	30	2,459,280	4	64,226	0	0	2.6	26	2,395,054
	平成22年度	47	2,234,484	10	35,975	0	0	1.6	38	2,198,509
	平成23年度	32	841,414	11	50,416	0	0	6.0	22	790,998
	平成24年度	4	19,959	3	11,113	0	0	55.7	2	8,846
	平成25年度	79	240,233	8	10,308	0	0	4.3	74	229,925
	平成26年度	90	213,827	6	9,538	0	0	4.5	86	204,289
	平成27年度	170	723,182	1	398	0	0	0.1	170	722,784
	平成28年度	170	993,579	10	15,545	0	0	1.6	160	978,034
	平成29年度	113	640,843	22	47,177	0	0	7.4	99	593,666
	平成30年度	124	950,584	14	26,456	0	0	2.8	114	924,128
	令和元年度	241	662,478	77	187,937	0	0	28.4	180	474,541
	令和２年度	315	1,148,881	124	329,227	0	0	28.7	207	819,654
	令和３年度	11,912	37,785,005	11,602	36,315,328	0	0	96.1	440	1,469,677
過年度計		13,560	51,951,592	11,920	37,205,821	0	0	71.6	1,837	14,745,771
現年度計		120,313	412,541,089	108,312	372,776,352	0	0	90.4	12,268	39,764,737
合　計		133,873	464,492,681	120,232	409,982,173	0	0	88.3	14,105	54,510,508

※ 令和５年３月末現在では、３月分の水道料金は未納となっている。

※ 収納に関しては内金で納付されたものがあり、必ずしも差し引いた未納額の件数にはならない。

【講評・所感】

《阿蘇医療センター》

令和４年度の決算は、総収益 2,730,616 千円に対し、総費用 2,655,726 千円、純利益 74,890 千円を計上し、減収減益となった。

減益の要因としては、本業の経費増に加え、新型コロナ対策等補助金の減少（384,198 千円）により、当期純利益は前期比 437,449 千円減少した。これにより、繰越欠損金は令和２年度 2,036,882 千円から令和３年度 1,524,542 千円に減少していたが、今期は 1,449,651 千円となった。

今後、新型コロナ対策等の補助金は減少する可能性は大きく、経営安定対策が必要と思われる。

業務面では、起案文書の決済区分、発送印漏れが散見された。また、起案文書の種類ミス（市長迄の決裁文言記載のもの）があった。

《上下水道課》上水道係

令和４年度の決算は、総収益 470,922 千円に対し、総費用 441,540 千円、純利益 29,382 千円を計上し、前期比増収増益となった。

給水については、配水量・給水量ともに前年度から増加したが、有水率は 74.3%で、前期比 0.8%減少しており、漏水面の検討が必要と思われる。

業務面では、工事請負契約の契約保証金額欄が空欄で記入漏れがあった。